

懐かしい卒塾生の動向

午後5時半過ぎ静岡教室（静岡オープンスクール静岡教室—静岡市銭座町、現在は閉鎖）で、中学1年生の女生徒とそのお母さんの突然の訪問を受けた。”あれえ～？どこかで見たような顔。う～ん、誰だったかなあ??”と考えておりましたら、「〇〇友見の妹です。お久しぶりです、先生。」とお母さんに挨拶され、「いや～！そうですか。懐かしいですね。」ホントびっくりしました。かれこれ8年前の当スクール静岡教室中学部の卒塾生の妹だったんですね。お母さんがおっしゃっていましたが、妹も小学校の高学年になってきたら、顔つきがだんだんお姉ちゃんに似てきたとのこと。ほんとお姉ちゃんの面影がはっきりと残っておりました。そのお姉ちゃんの勧めもあり当スクールに入塾したいとのこと、一通りの説明をさせて頂き、今週の金曜日から通塾することになりました。

そこで、お母さんにそのお姉ちゃんの動向をお聞きしましたら、今年で23歳、結婚して清水に住んでおり、来春お子さんが生まれるとのこと。お母さんも嬉しそうに話してくれました。授業の前でほんとは少ない時間の中お話しさせて頂きましたが、こうして卒塾生の妹や弟までもが当スクールに通ってくれるのは、私達の指導を認めて頂いた証でもあり、ほんと嬉しいものですが、それ以上にもう何年も経っても当スクールのことを覚えて下さっていることが嬉しかったですね。

そう言えば、前年卒塾生からその子どもの小学生の入塾の相談がありました。その時はまだ早いからいいよって言いましたが、もうそんな時代になったんですね。授業後、壁に貼ってある卒塾生の寄せ書きの色紙を見ましたら、ちゃんとそのお姉ちゃんの寄せ書きがありました。

そんなことがあった8年後位だったかな?、「先生、久しぶりです。覚えてる?俺のこと。こいつの勉強を見てもらいたく来たんだけど。」と、無精ひげ混じりの50歳位の男性が、当塾（当時は「知新塾」でした）に尋ねて来られたことがありました。

「えっ??、誰だっけ?」聞けば、当塾開校時（1975年）頃の教え子で、孫の小学生を連れてきたことがありました。寄る年波を感じました。